

県士会 ニュース

No.
196
[2019.4]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

3 第17回神奈川県作業療法学会 運営スタッフ公募!!

- 1 作品コーナー
- 1 巻頭言
- 2 始動 2020年へ向けて 県内エリア化構想
- 3 第17回神奈川県作業療法学会にむけて
- 4 各部からの報告
- 6 研修会案内
- 7 求人案内
- 8 新入職の方へ県士会への入会をおすすめ
ください!
- 8 編集後記

作品コーナー

作品名 みんなで作った桜の壁画

製作者 K・O様 (腰椎圧迫骨折、アルツハイマー型認知症)

作品について

みんなで作った壁画です。桜が鮮やかで綺麗にできました。
いろんな人に見てもらいたいです。

担当作業療法士

櫻井 利純氏 (医療法人中村会 介護老人保健施設 あさひな)



作品大募集!

作業療法で作られた対象者様の作品を県士会ニュースに掲載しませんか? 紙面を彩る素敵な作品を募集しております!

応募方法 ①お名前 (ふりがな) ②年齢 ③プロフィール ④作品タイトル ⑤作品について作者から一言 ⑥担当 OT のお名前
⑦担当 OT のご連絡先 (Email、電話番号など) ①~⑦を記載し、作品写真を添付して下記アドレスへメールしてください。

募集締め切り 随時募集しております。 **お問い合わせ** Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp

巻頭言

臨床実習が変わります

—理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部改正—

神奈川県作業療法士会 広報部 ニュース班 班長
国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科

出口 弦舞



このニュースを読まれている作業療法士の方がかつて体験したであろう「担当した対象者様の診療に関わり、その症例レポートを夜遅くまで頑張っておく」という臨床実習はこれから消えゆくことになるでしょう。既にご存じの方もあるかと思いますが、去る平成30年10月5日に、厚生労働省大臣と文部科学省大臣の連名にて指定規則の一部改正が省令として公布されました。今回の省令は平成32年4月1日から施行され、来年の春から実際に新しい形での教育が始まることになります。

作業療法養成施設での教育と臨床実習を規定しているのがこの「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則 (通称・指定規則)」です。今回の改正で特に実習が最大の改革を遂げることになりました。養成施設で従事される方以外

にも、日々スーパーバイザーの立場としても後進育成に関わる方が大変多いと思いますので、ぜひ本改正について知っておいて頂きたいところです。

改訂内容は、まず臨床実習で教育を行う側の規定に改訂があり、臨床実習指導者は5年以上業務に従事した者でかつ「臨床実習指導者中級・上級研修」等の講習会を修了した者とされ、養成施設提出の申請書には実習指導者の氏名と履歴も記載されることになりました。一方で養成施設の専任教員も「5年以上作業療法に従事した者で指定する講習会を修了した者」とされました。これは作業療法教育を担う者の責任と質をより高める改訂と読み取れます。そしてこれに付随し「実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨

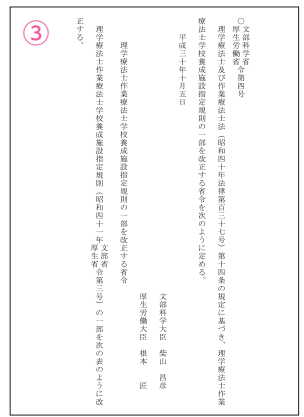
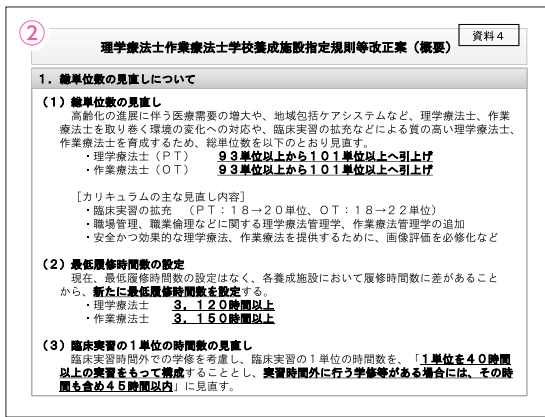
P2へ続く

床実習が望ましい」とされました。この「診療参加型実習」の形態は日本作業療法士協会も「作業療法実習指針(2018)」及び「作業療法実習の手引き(2018)」で紹介しています。さらに研修会では実習時間の厳守も明示され記録は実習時間内に終えることとしています。教育機関に従事する者と臨床に従事する者とが相互に協力し合い、後進育成に携わっていくことが求められているでしょう。

さらに臨床実習の二十二単位においては「通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を一単位以上行うこと。」と示されました。これは今後多く展開されるであろう地域作業療法を支える改訂点と言えます。養成施設でのカリキュラムでも「栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎」、「自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び他職種連携の理解」、「作業療法管理学」、「喀痰等の吸引」が新設され、総単位数が101

単位以上に引き上げになりました。いずれも本改正の趣旨に謳われている、医療需要の増大と地域ケアシステムの構築等により大きく変化した点に対応する見直しであり、現状の作業療法にふさわしい形となって新設されたものと捉えられます。

養成施設を卒業した後、日々臨床に従事される方の中には「こんなことあんまり知らなかった」という方もいらっしゃるかもしれません。是非この機会にご自身でも本改訂をご確認ください。以下厚生労働省および日本作業療法士協会のサイトですぐに見ることができます。また臨床実習指導に際しては一般社団法人日本作業療法士協会が実施する臨床実習指導者中級・上級研修等を受講することが必要になる点にご留意ください。これを機に今後もこの改訂に関する動向を逐次チェック頂けるようになれば幸いです。



- ① <http://www.jaot.or.jp/shiteikisoku>
- ② <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10803000-Iseikyoku-Ijika/0000197492.pdf>
- ③ <https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/hourei/H181005G0010.pdf>

始動 2020年へ向けて 県内エリア化構想

エリア化構想推進委員会 澤口 勇・神保 武則・大郷 和成

2019年1月22日神奈川県作業療法士会理事会において承認されました案件を報告致します。

第一に、本エリア化構想実現に向け課題抽出の作業の先駆けとし、2019年2月上旬に『県士会と会員に関するアンケート』を「県士会代議員」の方々に対しグループメールにて実施致しました。約1ヶ月間で回収し、まとめた結果を2019年度県士会総会(開催は2019年5月を予定)にて報告致します(本県士会ニュースでも掲載予定)。

第二に、回収したアンケート結果は内容を踏まえ、今後のエリア化構想の具体的なイメージを県士会会員の皆さまと共有するために、2019年6月以降~12月までの6ヶ月間で、県内エリア(8エリアを想定:2次医療圏域を参考に検討中)毎に「エリア化構想実現会議(仮称)」を開催する企画を予定しております。参加対象者は会員の方で

あれば限定せず、どなたでも参加できるスタイルです。是非とも皆さまの参加をお待ちしております。エリア化のメリットやディメリットなど率直なご意見を伺い、理想的なエリア化構築に向け、来る2020年へ備える…これが2019年度の事業計画(案)となります。

紙面の都合で具体的な構想(案)など伝えきれませんが、「会員の皆さまからの具体的な意見を聞いてからでないと本当の構想は描けない。まずは集まろう!」となったのが正直なところ。エリア化の理想的実現は、会員である皆さまが主役です。日頃から様々な支援者と連携し、市民の健康や幸福を第一線で見守っていきける…それがエリア化構想の一つかもしれません。

今後もこの県士会ニュースやその他の情報媒体で「エリア化構想」の進捗をご報告致します。

第17回神奈川県作業療法学会にむけて

新しい年を迎え、やっと日々落ち着いてきた頃でしょうか？年末には「平成最後の～」という言葉に慌ただしく追われ、何となく「最後」という言葉にさみしさを感じつつも、新しい年に向けて「何か別のことをやってみよう」という大きな気持ちにもなりました。それでというわけではございませんが、今回の第17回神奈川県作業療法学会は新たな時代に向けた新しい形の学会にしたいという思いから、実行委員を中心に日々議論を重ねております。県士会も若い世代が増え、活躍の場も大きく変わりました。学会のあり方や方法も新しい形に変わる時と考えます。今回の大きな挑戦への取り組みとして、まず1つ目は、発表にチャレンジしていただく、「チャレンジ枠」を企画いたしました。細かなことが抄録や発表スライドで語られなくても、当日の会場にいる皆さんとディスカッションをしていただき、様々な作業療法の考え方を吸収し、新しい発見をしていただきたいと思います。そして2つ目は、子育て中のパパさんママさんも子供と一緒に参加してほしいと思います。

第17回神奈川県作業療法学会 実行委員長 机 里恵

どうしても子育てと仕事の時間バランスがとりづらくなることがあります。だからこそ子供と一緒に気軽に参加でき、発表できることが大切と考えました。研修会への参加は時間ができた時だけではなく、子供と一緒に参加し、特別な時間を作らなくとも自分の時間も大切に、より積極的に参加していただけたらと思います。

県民公開講座や特別講演ではプログラム編集委員を中心に、超高齢化社会や認知症に向けたIT産業や介護ロボットの取り組みなど、これから進む日本の大きな問題にどうOTチャレンジするのか、様々な視点からご議論いただきます。今後の時代に沿ったOTの役割や実用性に向けてどうOTに関わるのか、沢山のご意見を頂きたいと思います。

沢山のチャレンジと新しい形の学会に是非ともご参加いただき、皆様のこれからのOT挑戦の1つにしていだければと思います。沢山の方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第17回神奈川県作業療法学会 運営スタッフ公募！！

第17回神奈川県作業療法学会が、2019年7月21日（日）10～16時、メルパルク横浜で開催されます。実行委員会では学会当日の運営スタッフを募集いたします。

これまで（一社）神奈川県作業療法士会では、養成校を主な会場として学会や臨床大会を行ってまいりましたが、会員数も2200名を超えたため、より多くの会員の皆様に学会にお越しいただく事を鑑みて会場を検討しました。アクセスも良く神奈川の歴史も感じられる、みなと横浜地域での開催といたしました。この機会に多く

の方々に参加していただく事はもちろんのこと、多くの会員の方々と一緒に、新しい時代の神奈川県作業療法学会を創り上げていきたいと思っています。この度運営スタッフを公募することに至りました。

公募概要は下記をご覧ください。詳細や申し込み方法等は、第17回神奈川県作業療法学会HP <https://kana-ot.jp/wpb/kotc17th/staff-recruitment> にてご案内いたします。この機会にぜひお手伝いいただければ幸いです。

	概 要	従事時間	参加費	交通費支給	参加ポイントシール
A	半日（最大3時間）従事 お手伝い時間以外はそのまま学会の聴講可	最大3時間	無 料	あり	なし
B	企画・部署ごと（最大1.5時間） 従事時間以外は一般の参加者と同様	最大1.5時間	必 要 事前登録	あり	あり

第17回神奈川県作業療法学会
 学会長 野々垣睦美
 実行委員長 机 里恵

各部からの報告

学術部

スキルアップ研修会『結果がみえる！手指・上肢運動麻痺への徒手アプローチ』の活動報告

(文責：鈴木 恵利香)

2018年度最後の学術部主催のスキルアップ研修会は、湘南医療大学教授の田邊浩文先生をお招きして、『片麻痺者に対する上肢機能改善へのアプローチ』について講義して頂きました！

講義内容として、「CIセラピーについて」適応基準やプロトコル、アラバマ大学での履修経験などをご講義して頂きました。その後は実際に田邊先生より「徒手アプ

プローチ」としてピストンフィンガーや促通法など様々な手技をご指導いただき、実際に体験する機会もありました。さらに、片麻痺当事者の方々に「治療の実践」をさせていただき、明日から臨床で活かせる貴重な時間となりました！

来年度も様々なスキルアップ研修を開催していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。



教育部

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」 県士会ウェブサイトから質問ができます！

(文責：教育部 奥原 孝幸 (神奈川県立保健福祉大学) 046-828-2738 (直)、kyoiku@kana-ot.jp)

今年度最初の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」です。

今春作業療法士国家試験に合格、就職された方、おめでとうございます。迎えた側の方も業務拡大や充実に向けて新たに動き始めたところではないかと思っております。

さて、このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。また今年度から臨床実習指導者講習会の開催も予定しています。教育部の情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されますので、しっかりアンテナを張っておいてください。

なお、本土会主催の事業、特に教育部関連の研修会に申し込むには、OT協会（協会）と神奈川県作業療法士会（県士会）の両会への入会と年会費の納入が必要です。研修会当日の入会手続きはできませんので、予めご入会、納入手続きをお済ませください。お近くの方にも広くお伝えください。

今号では、今年度開催予定の生涯教育制度関連の研修会をご案内いたします。

1. **現職者共通研修**：生涯教育制度の必須基礎研修、毎年全10テーマ開催。
2. **現職者選択研修**：生涯教育制度の必須基礎研修、生

活行為向上マネジメント（MTDLP）基礎研修（必須テーマ）と領域別選択（身体・老年期・精神・発達の各障害領域より自由選択）、毎年2領域開催（今年度の開催領域は検討中）。

※神奈川県士会では、一年間で必須基礎研修が修了できるように企画、開催しています。

3. **事例報告登録制度研修会**：協会への事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。神奈川県士会独自開催の研修会です。

4. **臨床実習指導者講習会**：巻頭言にありますように2020年度入学生の実習指導に関しては資格要件が設けられ、厚労省指定の講習会の受講が義務付けられました。ぜひご受講いただき、作業療法士の根幹である養成教育へのご協力をよろしくお願い致します。

※今後の県士会ニュース、県士会ウェブサイトにて開催情報を順次ご案内します。

その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会事務局にて随時受け付けています。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士関連の申請はOT協会です。ご不明の点はどんなことでもご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

地域リハビリテーション

(文責：遠藤 陵晃)

第3回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会参加報告

2019年1月20日(日) 関内新井ホールにおいて第3回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会が開催されました。この学術集会は神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会が主催で、当日は『とことん地域密着!! 100%県民還元』をスローガンに掲げ、サービスの量日本一、サービスの質日本一、顧客満足度日本一を目指し、日々取り組んでいるPT、OT、STが情報を共有するべく参加していました。プログラムは特別講演と一般演題で構成されていました。一般演題では、内容は多岐にわたり、復職、多職種連携、家族支援、ケアマネージメント支援などさまざまなキーワードで、13演題の発表がありました。特別講演では、鶴飼リハビリテーション病院の言語聴覚士の森田秋子先生より、コミュニケーション障がいに関心をもち、焦点を当てた主体的アプローチと題

して、リハ職に求められている必要なスキルについてのお話がありました。中でもリハのスキルとして必要なことは、単なる「人柄の良さ」ではなく、「人間力」を持つこと、多様な価値に対処する力を身につけること、そして専門性に基いた情報収集と他職種を理解しうまく活用することはとても印象に残りました。生活期でのリハビリテーションにおいて、「自立支援」と「その人らしさ」に焦点を当てるのがより明確化されている今、作業療法士として自分は何ができるのか、他職種と連携にするために必要なことなどについて今回改めて考える機会となりました。この訪問リハビリテーション学術集会は神奈川県が初で、他県にはまだない学術集会です。地域の現状を知るいい機会になるかと思しますので、来年皆さんもぜひ参加してみてください。



広報部

(文責：清野 由香里)

関連職種に対する対外広報活動報告

活動：神奈川県介護支援専門員研究大会
於：相模原市産業会館
日時：平成31年2月16日

介護保険関連事業所や回復期リハビリテーションに従事する作業療法士には関わりが深いケアマネージャーさんの県学会に、出展参加させていただきました！

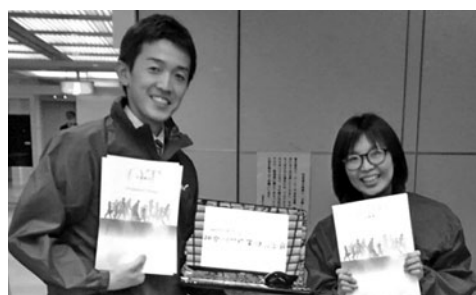
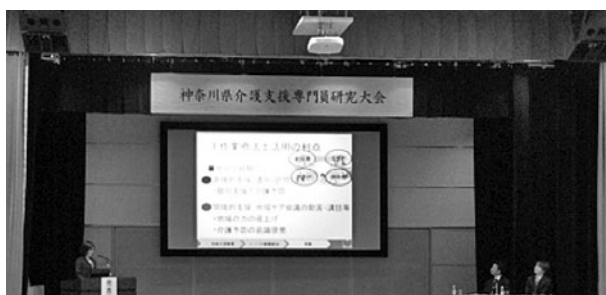
今年の学会テーマは『縁・援・円～吹きつけ！さがみの風～』、当日はケアマネージャーによる連携事例報告の他、歯科医による嚥下障害者の在宅支援報告、意思決定支援に関するシンポジウムなど充実した内容の研究大会でした。

作業療法士からも、地域支援事業での作業療法士の活動報告や、認知症に対するインフォーマルな支援活動報告を行いました。相談ブースにも多数のケアマネージャーが来場し、訪問作業療法への期待や『もっと地域に作業療法士が必要』とのご意見なども頂きました。

これからも広報では継続して地域医療福祉関連職種への啓発活動を行って参ります！

お知らせ

さまざまな対外広報活動を一緒に企画・参加しませんか？広報部対外広報班は部員を募集しております。ぜひご興味ある方は事務局までご連絡ください。



地域包括ケアシステム推進委員会

地域ケアシンポジウム“他職種の掛け算で地域のニーズに向き合う”が開催されました

(文責：地域包括ケアシステム推進委員 西川 航平)

来る平成31年1月13日に地域包括ケアシステム推進委員会による「地域包括ケアシンポジウム」が行われました。当日は53名の方が参加され、作業療法士以外にも多数の職種がシンポジストたちの熱弁を聞き入っていました。また、神奈川新聞が取材にくるなど地域からの関心の高さも伺えました！(2019年1月22日の神奈川新聞の朝刊に記事が掲載されました)

基調講演は神奈川理学療法士会理事である露木昭彰氏に地域包括ケアシステムにおけるリハ専門職の役割を講演いただき、「今、我々リハ職はまだ壁の中にいる(保険内)、徐々に壁の外の新しいサービス(保険外)は増えつつあるが、自分たちの専門性を発揮できる領域は目の前の対象が人であっても地域であっても通用する」といった内容は現実を知り不安を覚えつつも期待が膨らむものでした。そして特別公演では日本財団のソーシャルイノベーターにも選ばれた医師の横山太郎氏から地



域での新しい取り組み「co-minkan」について市民を中心とした地域づくり、公民館の歴史を受け継ぎ現代で実践する取り

組みについて講演して頂きました。型に捕らわれない発想と機転にはまさに脱帽でした。

後半は上記二名に加え、(株)NGU代表取締役 山手貴宏氏(介護福祉士)、(株)まこじろう福祉事務所執行取締役 鈴木真氏(介護福祉士)、そして衆議院議員でもあり僧侶でもあり作業療法士でもある堀越啓仁氏にも登壇頂き熱いシンポジウムを行いました。

テーマは地域包括ケアシステムにおける「予防」と「看取り」についてシンポジストたちの御意見を頂戴しました。各々の信念が強く「連携って言葉やめませんか?」「そんなことこだわっているのは専門職だけでしょ?」「疾病予防は医師に語らせない方がいい」など、個性的な意見の連発でした。1時間の予定でしたが、当然時間が足りず閉会後もシンポジストに質問を求める列が絶えないほど盛況の中幕を閉じました。

個人的な感想ですが、シンポジストの個性と熱を真に受けレベルの高さを実感しました。地域で信念を持って取り組むとはこういうことなのか、と。「作業療法士としての意見なのかわかりませんが、」「ぼく個人としては、」など職種にとらわれない意見も多数ありました。ただ、どのシンポジストも必ず中心に「市民(住民)」を置いていたのが印象的でした。一方的に専門職と前に立つのではなく、一緒に取り組む、共生していくそんな思いは随所に現れており、自分も地域に出る際にはその思いを忘れずに今後の活動に活かしていきたいと思います。

研修会案内

●【触診が苦手な方限定】第10期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー

主催：療法士活性化委員会 日時：第10期 2019年4月6、7日・5月4、5日・6月1、2日

場所：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー URL：<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

●★第1弾臨床につなげられる身体機能の評価の仕方(動作分析時の6つの視点!)

ベテランと言われる人は、このように見えていた!★

主催：MediArt(メディアアート) 日時：2019年4月7日

場所：横浜市営地下鉄ブルーラインセンター南駅 徒歩6分 総合施設 URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

●すっっっごい分かりやすく、ハンドリングの基礎を学ぼう!寝返り、起き上がり、立ち上がりのハンドリングが明日から出来るようになる!

主催：MediArt(メディアアート) 日時：2019年4月13日

場所：横浜市営地下鉄ブルーラインセンター南駅 徒歩6分 総合施設 URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

●デイがすべき本来の役割と「活動」と「参加」充実化セミナー(東京会場)

主催：日本通所ケア研究会 日時：2019年4月27日 場所：国際ファッションセンター

URL：https://www.tsuusho.com/active_participation/

●明日から臨床で結果の出せる上肢セミナー

主催：進リハの集い 日時：2019年5月12日 場所：ウィリング横浜

URL：<https://www.shinreha.com/blank-9>

求人案内

— 作業療法士募集 —



医療法人積愛会 介護老人保健施設 千の星・よこはま

当施設は病院併設の介護老人保健施設です

施設概要：介護老人保健施設（入所 120 名、通所 25 名）

募集内容：常勤 2 名

入所、通所の方々のリハビリテーション業務をお願いします

給 与：当法人規定による

待 遇：昇給年 1 回 賞与年 2 回

各種社保完備、退職金制度有り

福利厚生 職員住宅、保育所あり、マイカー通勤可

勤務時間：8：50～17：00

休 日：年間休日 120 日以上 別途特別休暇

応募方法：随時電話連絡の上、履歴書持参にて面接

担 当 者：事務長 佐々木 学

交 通：●JR「戸塚」よりバス 10 分「舞岡」下車
徒歩 5 分

●市営地下鉄「舞岡」徒歩 15 分

医療法人積愛会 介護老人保健施設 千の星・よこはま

〒 244-0812 横浜市戸塚区柏尾町 1434 - 3

電話：(代表) 045 - 822 - 2682

FAX：045 - 822 - 2791

医療法人社団日輝会 うなやま整形外科

募集人数：常勤 3 名以上

待 遇：年収 342 万～【常勤年収例】420 万～（5 年目）450 万～（10 年目）

勤務時間：月・火・木・金 AM8：50～12：50 PM14：50～18：50

水・土 AM8：50～12：50

休 日：日曜・祝祭日 水曜・土曜の午後 夏季休暇・年末年始休暇有り

交 通：相鉄線西谷駅から徒歩 5 分

応募方法：履歴書をお送り頂くと同時に、メールでご連絡お願い申し上げます。施設見学後にご検討頂いても構いません。

連 絡 先：採用担当 宇南山由紀 unayamaseikei01@gmail.com

医療法人社団日輝会 うなやま整形外科

〒 240 - 0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 924 - 1

TEL：045 - 370 - 6800 FAX：045 - 370 - 6805

■当院紹介

当院は、横浜市内にて「リハビリテーションを治療の主軸とした」整形外科クリニックです。

「一生安心して暮らせる地域づくり」をモットーに、日々診療に励んでいます。この度は、地域の患者様へ、もっと多くのリハビリテーションを提供できる体制をつくるために、新たな仲間を募集中です。

リハビリ科は、PT が常勤 5 名、パート 2 名が在籍しており、のびのびした雰囲気の中で仲良く仕事をする事ができます。

運動器疾患の多様な症例を経験することができますし、教育体制として先輩による充実したサポートがあるので、スキルをしっかりと高めたい方から、整形外科外来が未経験の方でも OK です！

また、今後は訪問リハビリや自費のリハビリへもチャレンジしていく予定ですので、新しい分野にチャレンジしたい方も大歓迎です！

見学はいつでも受け入れているので、ぜひ 1 度遊びに来てください。

すこしでも興味のある方は是非、お気軽にご連絡下さいね！

新入職の方へ 県士会への入会 を おすすめ ください！

当会は研修会だけでなく、神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。神奈川県をよりよくするため、一緒に活動する仲間を増やしていきましょう！！

入会案内

当会 HP (<https://kana-ot.jp/>) 「入会手続き」から入会申込書をダウンロードしてお申込みください。

事務局

編集後記

私は昔の特撮映画が大好きで、1990代に発売された50cmサイズのラジコンゴジラを家宝のように保管しています。しかし20年以上の経年劣化で作動不良が起き、最近は鳴き声が出なくなっていました…。そんな折、週刊雑誌でラジコンゴジラを組み立てるなんていうものが刊行されてしまいました…。しかもサイズが60cmと一回り大きく、背びれの発行ギミックもついてるとなれば、そんなの欲しさに決まってるじゃないですか！！全80巻で完成予定だそうです、2年以上に渡る刊行を買い続けられないかも…。だって総額にすると相当な金額ですよ。これは人生の最大級の悩みが発生です。ローンで買ったと思えばいいのでしょうか。誰か私にお導きを。
(びぐめい)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (196号) 2019年4月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 井部 賢吾(ハートケア横浜小雀) / 松井 洋鷹(澁野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス : jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp/> → 作業療法 神奈川県 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>

